

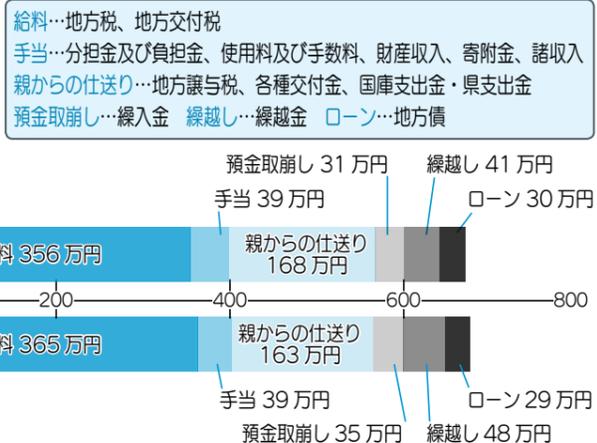
# 平成29年度 決算概要

決算状況をより分かりやすくお知らせするため、決算額の2000分の1を家計に例えて表していきます。 ※( )内は実数

平成29年度の決算では、45万円(8億9,844万円)の黒字となりました。そこから、平成30年度へ繰り越した事業に必要な金額を除いた実際の繰越額は44万円(8億8,752万円)となりました。

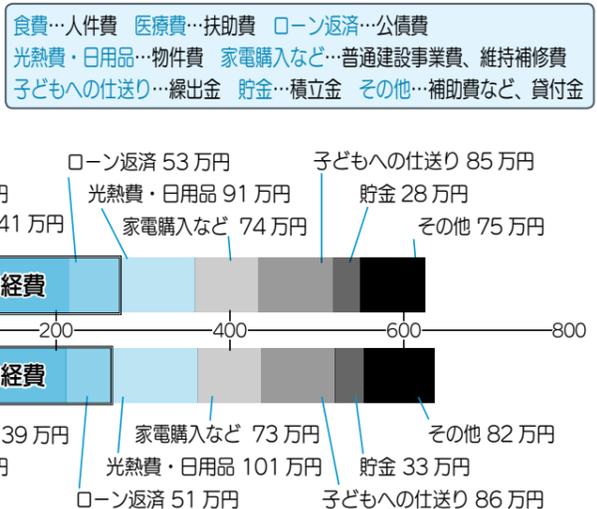
## 収入 ※( )内は実額

◆平成29年度の収入の特徴は、地方交付税の減少により、「給料」が下がったものの、各種交付金などの増加により「親からの仕送り」が増えたことです。「預金取崩し」も抑えながら、前年度並みの収入を確保しています。



## 支出 ※( )内は実額

◆平成29年度の支出の特徴は、前年度に理科備品の整備が完了したことにより、「光熱費・日用品」が大きく減少したことです。「医療費」や「ローン返済」にお金をまわしたため、「貯金」も減少しています。

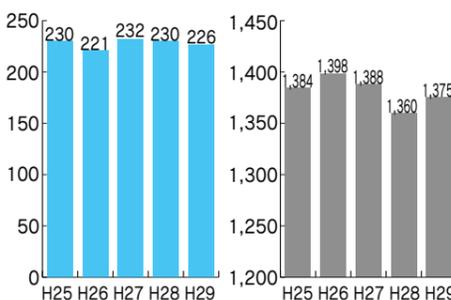


◆支出の中でも削減することが困難な義務的経費(食費(人件費)、医療費(扶助費)、ローン返済(公債費))の割合が高いと、自由に使えるお金が少なくなり、経済(行政)活動が制限されます。

平成29年度の支出総額に占める義務的経費の割合は、43.0%(267万円(53億3,385万円))であり、前年度の41.1%(263万円(52億5,028万円))に比べ、1.9ポイント(4万円(8,375万円))の増となりました。これは、「光熱費・日用品」の支出を抑えたものの、「医療費」や「ローン返済」が増えたことによるものです。義務的経費の中でも、「医療費」は増加傾向にあるため、今後の動向に注意する必要があります。

## ●基金(貯金)、市債(ローン)残高の推移

貯金残高 単位:万円 ローン残高 単位:万円



基金(貯金) …財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の合計  
 市債(ローン) …一般会計(530万円)、特別会計、公営企業会計の市債の合計

※平成29年度一般会計ローン残高のうち、少なくとも307万円は、国の制度により全額が資金手当されるローンです。

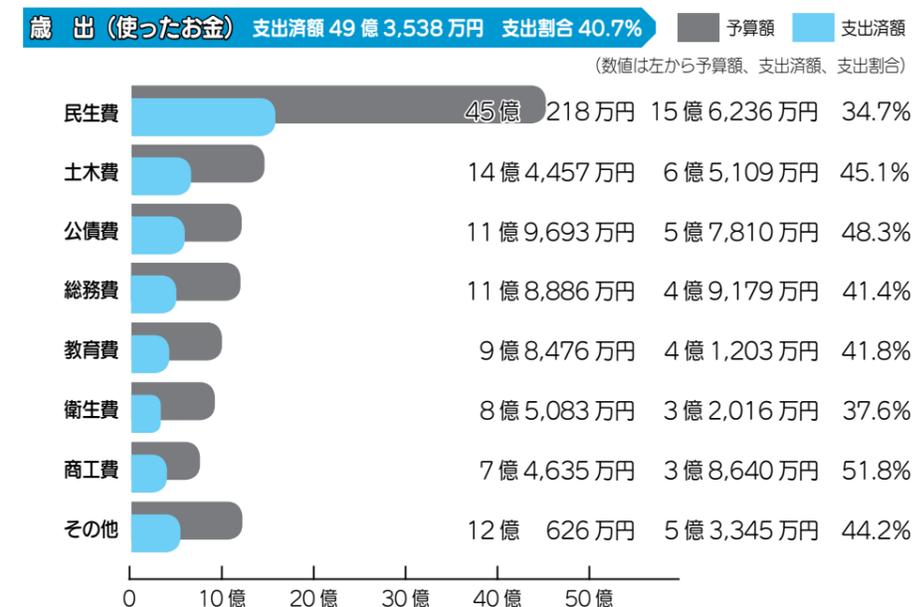
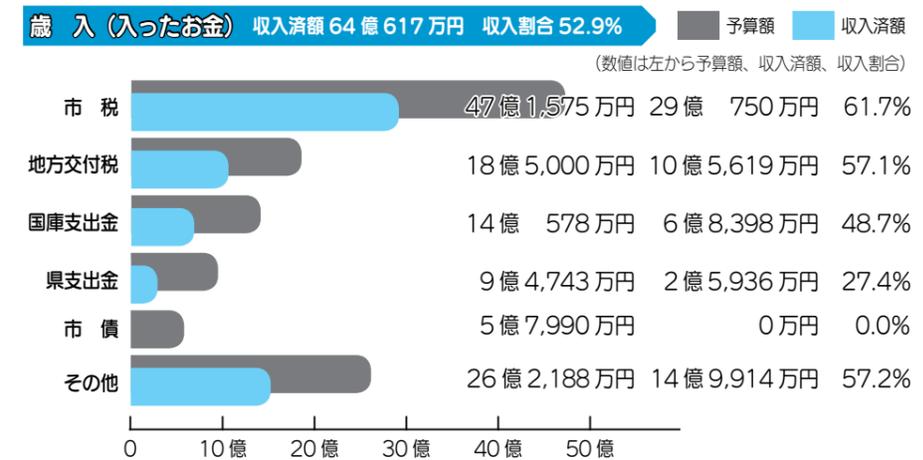
◆平成29年度中は、新たな工業団地造成のため「ローン残高」が1,375万円(274億9,035万円)と前年度比15万円(2億8,747万円)の増となりました。事業に必要な資金を確保するため基金を取り崩したため、「貯金残高」は226万円(45億2,420万円)と前年度比▲4万円(▲7,582万円)となりました。引き続き経費の節減合理化を図り、財政健全化に取り組んでいきます。

## ●特別会計・公営企業会計(水道事業)決算

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	35億231万円	34億832万円	9,399万円
後期高齢者医療事業	8億2,277万円	8億2,215万円	62万円
介護保険事業 保険事業	28億6,706万円	28億1,048万円	5,658万円
サービス事業	1,092万円	1,092万円	0万円
下水道事業	21億4,970万円	17億7,205万円	3億7,765万円
農業集落排水事業	1億5,691万円	1億4,811万円	880万円
工業団地造成事業	7億8,784万円	7億8,784万円	0万円
水道事業	5億1,329万円	5億9,220万円	▲7,891万円

# 平成30年度 予算執行状況 (平成30年9月末現在)

●一般会計予算執行状況 (予算額121億2,074万円) ※平成29年度からの繰越し分を含む



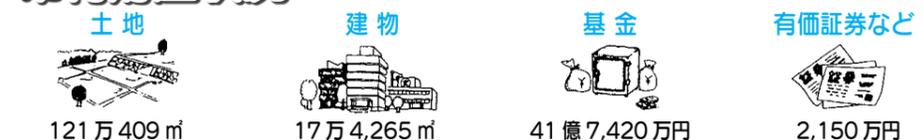
## ●特別会計予算執行状況

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険事業	29億6,338万円	12億2,590万円	41.4%	11億2,916万円	38.1%
後期高齢者医療事業	7億9,399万円	1億3,745万円	17.3%	2億5,715万円	32.4%
介護保険事業 保険事業	30億8,428万円	13億7,548万円	44.6%	11億8,759万円	38.5%
サービス事業	1,164万円	471万円	40.5%	539万円	46.3%
工業団地造成事業	8,157万円	27万円	0.3%	22万円	0.3%

## ●公営企業会計予算執行状況

事業	歳入			歳出		
	予算額	収入済額	収入割合	予算額	支出済額	支出割合
水道事業	4億5,971万円	2億2,262万円	48.4%	4億2,029万円	8,250万円	19.6%
収益的収支	4億5,971万円	2億2,262万円	48.4%	4億2,029万円	8,250万円	19.6%
資本的収支	6,860万円	0万円	0%	3億2,453万円	7,642万円	23.5%
下水道事業	14億1,959万円	7億4,028万円	52.1%	12億5,496万円	2億525万円	16.4%
収益的収支	14億1,959万円	7億4,028万円	52.1%	12億5,496万円	2億525万円	16.4%
資本的収支	14億1,781万円	9,236万円	6.5%	20億280万円	4億9,031万円	24.5%

## 市有財産状況 (平成30年9月末現在)



# 滑川市の 財政事情

問合せ先 財政課(内線261・262)

市の財政状況を、1年に2回、市民の皆さんにお知らせしています。

今回は、平成30年度予算の上半期の執行状況と市の財産の状況、平成29年度の決算の概要を掲載しています。

## 用語解説

### 【歳入の部】市税

市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税を総称したものです。

### 地方交付税

全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。

### 国庫支出金・県支出金

様々な事業に対する国・県からの補助金、委託金などです。

### 市債

施設の整備などのために借りのお金です。

### 【歳出の部】民生費

高齢者、障がい者、児童の福祉や生活保護に使われます。

### 土木費

道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。

### 公債費

借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。

### 総務費

市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。

### 教育費

小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。

### 衛生費

ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。

### 商工費

商業や工業、観光の振興などに使われます。

### 【各会計の解説】一般会計

市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。

### 特別会計

特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計で、本市には国民健康保険事業や介護保険事業など、4つの特別会計があります。

### 公営企業会計

民間企業と同様に、事業で得た収入で支出をまかなうという、独立採算を原則とする事業について設けられた会計で、本市では水道事業会計と下水道事業会計が該当します。